

高等専門学校の設置に向けた検討について

1 趣旨

ポストコロナ、気候変動そして人口減少の時代の中で、「夢と生きる力」を育み、産業の競争力を高め、そして変化する地域に対応していくために、「価値創造力」と「専門性」、そして「実践力」を兼ね備えた工業系の高等専門人材を育成する必要がある、そのための教育機関として、高等専門学校の設置について検討を進める。

2 検討経過

令和元年度「滋賀県高等専門人材育成機関検討会」（以下、「庁内検討会」）を
 9月に設置し、意見交換や検討課題を整理

令和2年度 庁内検討会にて「高等専門人材」の定義づけを行うとともに、県内企業との意見交換やアンケート等を踏まえ、「高等専門学校」に絞り込んで検討を行うことを確認

⇒これまでの検討経過を「中間まとめ2020」として取りまとめ

3 令和3年度の検討

今年度は、庁内検討会とともに、有識者による懇話会を設置し、そこでの意見や専門コンサルタントの支援も踏まえ、高等専門学校設置に向け、学科やカリキュラム、規模、経営シミュレーションなど、さらに具体的な項目の検討を行い、「構想骨子」として取りまとめる。

■ (仮称)滋賀県高等専門学校設置検討懇話会

- ・メンバーは8名程度を想定

	区分	視点
①	学識経験者	高専の学校運営や学生生活のノウハウ、課題など
②	県内企業(製造業)	県内企業の高専への期待感、課題など
③	県内企業(建設業)	同上
④	先進技術(情報系)	飛躍的に進化するデジタル技術の行方、ベンチャー育成など
⑤	先進技術(未来系)	10～20年先を見据えた技術動向、宇宙などのフロンティア分野など
⑥	中学校教員	中学生の考え方、キャリア教育、進路指導の状況など
⑦	企業の採用担当	採用に当たって人材を見る視点、求人の状況など
⑧	産業系メディア関係者	各地の高専の特徴、学生のモチベーションなど

※必要に応じゲストスピーカーを追加

■ 検討項目

構想骨子の検討<令和3年度>	⇒	その後の検討
<ul style="list-style-type: none"> ○ ニーズ(入学者、採用側) ○ 育成すべき人材 ○ 学科・カリキュラム編成 ○ 学校規模(クラス数) ○ 実習設備、必要施設 ○ 設置費用・収支見込の概要、損益分岐点 ○ 設置主体、運営主体 ○ 産業界との共創のしくみ (インターンシップ/共同研究/資金支援) ○ 施設・場所の候補 <p style="text-align: right;">など</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 教員の確保 ○ 講座の詳細(シラバス) ・リカレントの枠組み含む ○ 人件費 ○ 補助金・助成金 ○ 設置主体組織 ○ 産業界との協議会組織 ○ 施設・場所の決定 <p style="text-align: right;">など</p>

4 今後のスケジュール(予定)

令和3年5月	コンサルタント支援に係る契約締結
6月	第1回有識者懇話会(幅広い仮説構築)
7~8月	第2回有識者懇話会(学科等、教育分野の検討)
9月頃	第3回有識者懇話会(学校規模の検討)
10月頃	第4回有識者懇話会(経費シミュレーション)
12月	常任委員会(構想骨子素案)
令和4年2月	常任委員会(構想骨子案)
3月	「構想骨子」の公表

※適宜、常任委員会にて検討状況を報告

参考) 高専設置の場合の文科省認可に至る基本的な流れ

